

平成 30 年度 第 2 回 掛川市地域公共交通会議 会議要録

日 時：平成 31 年 1 月 11 日（金）午後 1 時 30 分～3 時 15 分

場 所：掛川市役所 5 階全員協議会室

出席委員：18 人（随行 2 人）（欠席委員 5 人）

次 第：

- 1 開会
- 2 会長挨拶
- 3 市長挨拶
- 4 議事

〈報告事項 1〉「書面協議結果について」

- ・平成 30 年 11 月 12 日付掛生地第 33 号 掛川市地域公共交通会議協議事項「掛川市自主運行バス効率化と利便性向上策（案）について」委員 23 人中 23 人の全会一致で承認されたため報告。

質疑・意見）

- ・特になし

〈協議事項 1〉「掛川市地域公共交通網形成計画 1 年目評価（案）について」

- ・掛川市地域公共交通網形成計画の 3 つの方針に基づく計画目標の評価指標について調査・評価をすることとなっているため報告。

質疑・意見）

- ・方針 2 目標 5「企業とのコラボによる公共交通利用者への特典検討」とはとの質問
→掛川大須賀線において、掛川駅周辺店舗の飲食店等の割引券をバス車内で配布している。

〈協議事項 2〉「自主運行バス桜木線の改善策（案）について」

- ・掛川市自主運行バス「桜木線」において、収支率の改善を図るため桜木地区地域交通協議会を立ち上げ、協議・検討を重ねた。その結果、ルートの変更、ダイヤの改定、地域での取り組みの改善策を実施することを提案。

質疑・意見）

- ・経路変更による今の利用者への影響はとの質問
→「桜木農協前」「新田」バス停に影響あるが、調査ではほぼ利用者はなし。
- ・変更案については地区住民と考案したのかとの質問
→区長等の役員や関係者で構成する桜木地区地域交通協議会を立ち上げ、5 回開催した
- ・地区のモビリティマネジメント実施をとの質問
→チラシ等を作成し、協議会を継続し地区の協力を得ながら周知していく。
- ・タクシー会社にとっては厳しいが、バス改善策としては非常によいと思う。
- ・収支改善を目的とする中で、経路変更は経費増。これを踏まえた上で収支改善を実現するには、地元の協力が必要ということを是非ご認識いただきたい。

〈協議事項 3〉「公共交通協働エリアにおける取り組み（案）について」

- ・原田地区・倉真地区での地域福祉バスを生活支援車に変更することを提案。

質疑・意見）

- ・原田地区では 28 年間ボランティアで運行してきたが、高齢化により運転手確保が課題になっている。住民にとって重要な手段であるので継続して守っていききたい。
- ・地区の取り組みに対する市の支援スタンスはどのような内容かとの質問
→市の支援としては、生活支援車という制度の紹介と、地区まちづくり協議会交付金による支援、予算作成等の業務支援を行っている。交付金については、基幹のバス路線を利活用可能となるように既存の公共交通利用を促すような仕組みをとっている。

〈協議事項 4〉「地域間幹線系統取り組み（案）について」

- ・県の事業として実施している、地域間幹線系統についての評価報告。

質疑・意見）

- ・市の取り組みについて、免許返納助成券と病院受診者助成券の実績報告をとの質問
→免許返納助成券：H29.4～H30.12 75 歳以上の返納者 632 人中 619 人申請（97.9%）
病院受診者助成券：H29 年度 639 人/年 H30 年度 280 人/上半期

〈協議事項 5〉「平成 31 年度掛川市生活交通確保計画（案）について」

- ・掛川市での公共交通サービスの計画について提案。

質疑・意見）

- ・特になし

5 その他

- ・市補助を受けている UD タクシーの稼働状況報告
- ・委員の方々も桜木地区を訪れてみてほしい。

6 閉会